

令和 2 年 6 月 11 日現在

機関番号：32621

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2014～2019

課題番号：26285030

研究課題名(和文) アメリカの政治過程の変貌における「メディアの分極化」の多角的検証

研究課題名(英文) Analyzing Media Polarization in the Transformation of the American Political Process

研究代表者

前嶋 和弘 (Maeshima, Kazuhiro)

上智大学・総合グローバル学部・教授

研究者番号：10350729

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 11,100,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、ここ数年のアメリカ政治の最大の変化の一つである政治報道の変化について、政治学の観点から多角的に分析するものである。アメリカの政治報道の客観性追求は、かつては規範そのものであり、民主的な政治過程を支える基盤そのものであった。しかし、近年は左右の政治的な立場を明確にした情報提供に大きく変貌しつつある。この「メディアの分極化」と保守とリベラルという「政治的分極化」は無関係ではなく、政治過程の機能不全の背景となっている。ソーシャルメディアの利用が盛んになる中、様々なアクターが自らを有利に報じるメディア機関を厳選し始めるなど、政治参加からガバナンスのあり方までが変わりつつある。

研究成果の学術的意義や社会的意義

政治過程全般が保守とリベラルに分かれる「政治的分極化」現象が一気に進み、「動かない政治」「決まらない政治」が固定化する中、アメリカでは民主的な政治システムそのものが大きな曲がり角に立っている。この中で「メディアの分極化」は政治を情報面から支えるメディアが特定のアドボカシー活動を行うことに他ならない。これは民主主義の機能不全であり、市民社会の危機でもある。この現象はメディアだけに注目しても見えにくい。「メディアの分極化」の影響について、政治過程論の中でメディアの役割の包括的な再検討を本研究では行った。そして、危機的な状況の向こう側に何らかの処方箋に向けたシナリオを追求した。

研究成果の概要(英文)：This study focuses on one of the biggest changes in American politics in the last few years: changes in political reporting. The pursuit of objectivity in the American political press was once the norm itself, which the democratic political process was built. In recent years, however, there has been a major shift in the provision of information that clarifies the political positions of the left and right. The polarization of the media and the political polarization of conservatives and liberals are not unrelated, but they are the backdrop to the dysfunction of the political process, and as the use of social media for instantaneous propagation of political coverage flourishes, various actors such as presidents, political parties, Congress, bureaucrats, interest groups, think tanks, and civic organizations have begun to handpick media institutions that report in their favor, changing everything from political participation to governance.

研究分野：政治学

キーワード：アメリカ現代政治 政治的分極化 政治コミュニケーション メディアの分極化 公共政策 議会  
大統領 選挙

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。

## 1. 研究開始当初の背景

ベトナム戦争、ウォーターゲート事件などの報道を通じて、アメリカにおける政治報道は、「政府のウォッチドック」「社会を映す客観的な鏡」などの形容詞と共に、広く世界から賞賛されてきた。しかし、アメリカにおける政治報道は90年代後半から急変した。特にThe Rush Limbo Showなどを中心とするトークラジオ(聴取者参加型政治番組)、CATV・衛星局であるFox News Channel(1996年開局)などの保守の立場を鮮明にした政治報道が急激に目立つようになった。さらには、保守派のルパート・マードックによるウォールストリートジャーナル紙の買収などによって、同紙の政治的立場も著しく保守化した。これらの報道機関の保守偏向(コンサバティブ・バイアス)についての研究が次々に発表されつつある(Jamieson and Cappella, Echo Chamber, 2008)。一方で、保守メディアに対抗するように、CATV・衛星局のMSNBC(1996年開局)や、リベラル派に加担したトークラジオの登場のように、革新寄りの報道を全面的に押し出した政治報道も特にここ5,6年の間に顕著になっている。主要メディアの革新偏向(リベラル・バイアス)を計量的に検討する議論もアメリカにおける政治過程論のテーマに再浮上してきた(例: Groseclose, Left Turn, 2011)。

つまり、アメリカにおける政治報道はこれまでの規範である客観性追及から、保守とリベラルといういずれかの立場を明確にした状態での情報提供に収斂しつつある(前嶋「複合メディア時代の政治コミュニケーション」2012)。左右の政治的な立場を明確にした「メディアの分極化」という変化は、衛星・CATVの普及をきっかけとしたテレビの多チャンネル化やインターネットの爆発的普及を背景に、既存メディアが生き残り戦略を急いでいることが影響しており、政治報道も「ニッチ市場」の開拓を目指し、政治情報の内容を「消費者」向けにマーケティングして、提供するようになった。

政治過程全般が保守とリベラルに分かれる「政治的分極化」現象が一気に進み、「動かない政治」「決まらない政治」が固定化する中、アメリカでは民主的な政治システムそのものが大きな曲がり角に立っている。「政治的分極化」はメディアが生んだのか、あるいは「政治的分極化」の帰結がメディアに及んだのか、議論は尽きないものの、「メディアの分極化」が政治文化をめぐる急変に直結している点は特筆できる。「メディアの分極化」はアメリカの政治過程を根本から揺るがし始めている。一方で、この新しい現象はいまだ研究分野としてほとんど解明されていない。この現象はメディアだけに注目しても見えにくいので、「メディアの分極化」の影響について、政治過程論の中でのメディアの役割の包括的な再検討が急務になっている。この再検討が本研究であった。

## 2. 研究の目的

アメリカの政治報道の客観性追求は、かつては規範そのものであり、「正しい政治情報」が民主的な政治過程を支える基盤そのものであった。しかし、近年は左右の政治的な立場を明確にした情報提供に大きく変貌した。政治報道を瞬時に伝播させるソーシャルメディアの利用が盛んになる中、大統領、政党、連邦議会、官僚、利益団体、シンクタンク、市民団体などの様々なアクターが自らを有利に報じるメディア機関を厳選し始めるなど、政治参加からガバナンスのあり方までが変わりつつある。「メディアの分極化」と保守とリベラルという「政治的分極化」は無関係ではなく、政治過程の機能不全の背景となっている。本研究は、ここ数年のアメリカ政治の最大の変化の一つである政治報道の変化について、政治学の観点から多角的に分析した。

## 3. 研究の方法

本研究は、研究代表者と5人の研究分担者によって行われた。研究分担は多岐にわたっている。具体的には、(1)メディア機関の変化、(2)選挙における候補者・政党とメディアとの関係の変化、(3)大統領、官僚、連邦議会、裁判所のガバナンスの手法におけるメディアとの関係の変化、(4)政治運動の変化、(5)「メディアの分極化」をめぐる各アクターの連携、(6)「メディアの分極化」の政治過程全体への影響、の6点であった。そして、それぞれを統合し、「メディアの分極化」はどのような現象であり、政策形成上でどのような政治的影響を持っており、国民の政治参加についてどんな変化があり、民主主義や市民社会形成にどう影響していくのか、そして、「メディアの分極化」をめぐる、アメリカ政治のアクターがどのように互いに影響し合い、政治過程全体に影響が及んでいるかについて、などの点を明らかにする。さらに、この研究の背景にある、日本とアメリカの政策過程におけるメディアの役割の比較などについても詳細に分析した。

調査の中心となるのが、(1)現地での質的調査(インタビュー調査)(2)資料・文献による分析だった。特に、本研究が対象とする分野は、学術的に本格的に取り上げた研究がこれまで十分ではないため、現地での調査には重点を置く。インタビューの対象となるのは、メディア機関、ファクトチェック団体、非営利メディア関係者、報道関係者に加え、政策形成上の影響やその評価を探るため、政党関係者、議会関係者、政府関係者、シンクタンク関係者、社会運動関係者ら多岐にわたる。研究の基礎となる最初の2年については、基礎的な文献収集・分析のほか、

現地調査も代表者と分担者で手分けをして、包括的な調査を目指した。また、資料・文献による分析については、単に情報収集をするだけでなく報道の変化などについての内容分析(量的・質的)も進める。研究会は年4回程度開催し、代表者、各分担者らがそれぞれの情報を積み上げていった。

#### 4. 研究成果

本研究を通じて「メディアの分極化」をめぐる様々な状況が明らかになった。

選挙においては、候補者や政党選挙においては好意的なメディア機関と親密になり、否定的な報道については「偏向」を指摘する。大統領や連邦議会、官僚は効果的なガバナンスを希求する一環として、少しでも自らにとって有利な報道をするメディアを厳選する傾向にある。各種利益団体や一部のシンクタンクも、「味方のメディア」と「敵のメディア」を峻別し、提供する情報を大きく変えている。さらに、保守のティーパーティー運動、リベラル派のウォール街占拠運動のいずれも、近年の左右の政治運動が拡大していく際には、保守、リベラルのそれぞれのメディアが政治的なインフラとなっていた。ソーシャルメディアが爆発的に普及し続けているため、政治報道は瞬時に広く伝播するようになったが、オンラインでは自分の支持する情報を好んで伝える「選択的接触」傾向があるため、世論の分極化もさらに進んでいる傾向が明らかになっている。

このように、政治参加からガバナンスのあり方まで、「メディアの分極化」はアメリカの政治過程を一気に変貌させつつある。「メディアの分極化」は、アメリカの政治過程全体の各アクターの行動全てを支配しつつあるといっても過言ではない。

さらに具体的に5点にわたって、本研究で得た知見を要約する。

(1)「メディアの分極化」がここ10年の間で本格的に進展し、各アクターは「自分の側」の情報提供を急ぐ一方で、対立する政治情報に対しては「フェイクニュース」という言葉に代表されるように徹底的に否定する傾向が顕著になった。

(2)「メディアの分極化」と国民全体の「政治的分極化」とは不可分であり「政治的分極化」が進み、国民を表す「鏡」であるメディアの分極化が進んでいった。またこれは競争が激しい報道機関にとっても「市場」を見つける経済合理性に基づく流れでもある。

(3)規範を失ったかに見えるメディアに対する批判は研究者やジャーナリストからは少なくない。ただファクトチェックなどの対応策は「誰がチェックするか」のバイアスも目立つ。

(4)「メディアの分極化」の進展過程で、政治過程がさらに分断された。国民の政治参加についても「自分が望む情報」には耳を傾けるがそうでないものは拒絶する傾向が見て取れる。

(5)「メディアの分極化」は民主主義や市民社会形成に大きな危機となるが、いまのところ、何らかの処方箋が見えない。公共放送的な放送の重要性も諸外国ではみえはじめている。

最後の「メディアの分極化」の処方箋について、今回の研究では行きつくことができなかったが、代表者、分担者の議論の中では様々なシナリオがうっすらと浮かび上がっている。特に、人口動態の変化が変化を起こすシナリオや、政治的分極化で(その一方で進む「メディアの分極化」で)激しい対立の中、政策は行き詰まり、より合意を目指す政策形成や政策情報の客観化を国民が望むのではないか、などという合理的選択のシナリオなどが議論された。その一部は前嶋和弘他編『現代アメリカ政治とメディア』(東洋経済新報社、2019)などで既に交換している。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計78件（うち査読付論文 3件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 67-1
2. 論文標題 「中間選挙後のアメリカ外交」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『海外事情』	6. 最初と最後の頁 63-75
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 11-1
2. 論文標題 「3年目を迎えたトランプ政権の外交・安全保障」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『インテリジェンス・レポート』	6. 最初と最後の頁 17-26
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 89
2. 論文標題 「トランプ政権の対中政策：2017-2018、そして今後」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『国際情勢紀要』	6. 最初と最後の頁 105-113
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 1
2. 論文標題 「トランプ政権とメディア：『フェイクニュース』は必然か」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『トランプ政権の対外政策と日米関係』日本国際問題研究所（平成29年度外務省外交・安全保障調査研究事業）	6. 最初と最後の頁 37-47
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 山岸敬和	4. 巻 15
2. 論文標題 「オバマケアの執行過程をめぐる政治的争い 世論の動向に注目して」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 南山大学紀要『アカデミア』社会科学編	6. 最初と最後の頁 95-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 33
2. 論文標題 「2016年アメリカ大統領選挙とメディア」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『選挙研究』	6. 最初と最後の頁 30-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 247
2. 論文標題 「トランプ政権とメディア：メディア不信の中で必然的に起こった「フェイクニュース」論」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『生活経済政策』	6. 最初と最後の頁 17-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 22
2. 論文標題 「アメリカ社会における社会的分断と連帯 メディアと政治的分極化」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『学術の動向』	6. 最初と最後の頁 84-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 88
2. 論文標題 「第三勢力としてのトランプ現象」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『国際情勢紀要』	6. 最初と最後の頁 81 - 90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 17
2. 論文標題 「マティス国防長官の発言で分かる米朝の今後」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『リベラルタイム』	6. 最初と最後の頁 18-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 28
2. 論文標題 「軽い発言、振り回される世界 トランプ外交1カ月」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『E-World Premium』	6. 最初と最後の頁 8-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 36
2. 論文標題 「海外の選挙事情 アメリカ大統領選挙」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『Voters』	6. 最初と最後の頁 20-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 40
2. 論文標題 「シリア爆撃は国際主義回帰の号砲か」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『E-World Premium』	6. 最初と最後の頁 12-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 44
2. 論文標題 「バノン解任をターニングポイントにできるか」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『E-World Premium』	6. 最初と最後の頁 17-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 47
2. 論文標題 「「取引」通り「理念」引っ込んだトランプ流「型破り外交」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『E-World Premium』	6. 最初と最後の頁 8 - 13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 50
2. 論文標題 「「柔軟性」が招く軍拡の懸念 北朝鮮、ロシアの脅威に対応、米核戦略見直し」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『E-World Premium』	6. 最初と最後の頁 8 - 13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 94
2. 論文標題 「中間選挙 与党惨敗の歴史」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『週刊エコノミスト』	6. 最初と最後の頁 32 - 33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 1
2. 論文標題 「米国の国内問題におけるイデオロギーの展開：政治・社会における分極化、多文化主義」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本国際問題研究所編『米国の対外政策に影響を与える国内的諸要因』（日本国際問題研究所）	6. 最初と最後の頁 17-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明	4. 巻 603
2. 論文標題 「これからの米国政治と我が国への影響」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『技術と経済』	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fumiaki Kubo	4. 巻 19 - 3
2. 論文標題 'Trump Prompts Japan's Cautious Shift to Self-Reliance'	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 "East Asia Forum Quarterly"	6. 最初と最後の頁 3-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 久保文明	4. 巻 510
2. 論文標題 「激震・トランプ時代と日本」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『けいさつの友』	6. 最初と最後の頁 11 - 18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明・松本悠子	4. 巻 3344
2. 論文標題 「対談 アメリカ学会編「アメリカ文化辞典」をめぐって」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 図書新聞	6. 最初と最後の頁 1 - 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明	4. 巻 690
2. 論文標題 「日本と世界を悩まし続けるトランプ大統領の予測不可能性」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『地銀協月報』	6. 最初と最後の頁 9 - 11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明	4. 巻 639
2. 論文標題 「書評 トランプ現象の土壌を探る」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『UP』	6. 最初と最後の頁 54 - 59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺将人	4. 巻 33
2. 論文標題 「2016年アメリカ大統領選挙の選挙運動：集票戦略の効果をめぐる問題を中心に」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『選挙研究』	6. 最初と最後の頁 18-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺将人	4. 巻 なし
2. 論文標題 「アメリカの通商政策における政治過程：TPPをめぐる内政要因を中心に」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『米国の対外政策に影響を与える国内的諸要因』日本国際問題研究所	6. 最初と最後の頁 71-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山岸敬和	4. 巻 なし
2. 論文標題 「医療政策の政治過程と関連団体」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『アメリカ医療関連データ集』	6. 最初と最後の頁 5-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山岸敬和	4. 巻 なし
2. 論文標題 「オバマケアの意義と残された課題」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「アメリカ医療関連データ集」	6. 最初と最後の頁 2-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takakazu Yamagishi	4. 巻 103
2. 論文標題 ' Teaching Political Science to Non-Native Speakers in English: A Case Study Viewed with the CLIL Approach '	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 " Academia Literature and Language "	6. 最初と最後の頁 79-91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菅原和行	4. 巻 26
2. 論文標題 「行政国家の時代におけるスタッフ組織の機能不全に関する一考察 アメリカ大統領府を事例として」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『 釧路公立大学地域研究 』	6. 最初と最後の頁 71-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 梅川健	4. 巻 45巻1号
2. 論文標題 「オバマ政権とテロとの戦争：「国家機密特権」と「標的殺害」を中心に」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『 国際安全保障 』	6. 最初と最後の頁 43-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 47
2. 論文標題 「ドナルド・トランプ：メディアが生み出した白人ブルーカラー層のヒーロー」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『 アジア時報 』	6. 最初と最後の頁 2-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 37
2. 論文標題 「米大統領選挙：選挙から見るアメリカの変化」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『外交』	6. 最初と最後の頁 32-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 47
2. 論文標題 「2016年大統領選挙と第三勢力：番狂わせを起こす弱小勢力「第三政党」と二大政党内のアウトサイダーの台頭」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『アジア時報』	6. 最初と最後の頁 2-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 65
2. 論文標題 「2016年米国大統領選挙：結果と影響」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『海外事情』	6. 最初と最後の頁 24-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 86
2. 論文標題 「アメリカの政治不信：2014年中間選挙を例にして」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『国際情勢紀要』	6. 最初と最後の頁 57-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺将人	4. 巻 890
2. 論文標題 「アメリカ政治の「壁」とリベラルの敗北」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『世界』	6. 最初と最後の頁 50-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺将人	4. 巻 319
2. 論文標題 「時代とシンクロしたトランプが「風」つかむ：保守エリートへの反乱、16年経て日の目」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『Journalism』	6. 最初と最後の頁 6-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺将人	4. 巻 39
2. 論文標題 「反クリントンで結束はかる米国共和党」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『外交』	6. 最初と最後の頁 108-111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺将人	4. 巻 232
2. 論文標題 「アメリカの左派と政党デモクラシー：「サンダース旋風」の文脈を中心に」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『生活経済政策』	6. 最初と最後の頁 16-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明	4. 巻 37
2. 論文標題 「トランプ現象のは改正と必然性」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『外交』	6. 最初と最後の頁 12-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明	4. 巻 527
2. 論文標題 「アメリカにおける中国観の変遷」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 UP	6. 最初と最後の頁 62-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明	4. 巻 653
2. 論文標題 「8年目のオバマ外交」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 「国際問題」	6. 最初と最後の頁 6-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明	4. 巻 55
2. 論文標題 「アメリカ大統領選挙と安全保障」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 「防衛学研究」	6. 最初と最後の頁 1-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明	4. 巻 923
2. 論文標題 「アメリカ大統領と今後の日米関係」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 「学士会会報」	6. 最初と最後の頁 4-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明	4. 巻 641
2. 論文標題 「トランプ政権及び日米関係をめぐって」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 「公研」	6. 最初と最後の頁 56-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 64
2. 論文標題 「2016年アメリカ大統領選挙を読み解く3つの視点」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『海外事情』	6. 最初と最後の頁 19-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 86
2. 論文標題 「アメリカの政治不信：2014年中間選挙を例にして」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『国際情勢紀要』	6. 最初と最後の頁 57-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明	4. 巻 912
2. 論文標題 「2016年米国大統領選挙の見方：民主党三連勝の可能性」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『學士會会報』	6. 最初と最後の頁 44-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明	4. 巻 1
2. 論文標題 「日本は、戦後70年、米国とどのような和解の道を行ってきたか」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『戦後70年談話の論点』	6. 最初と最後の頁 110-122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明	4. 巻 33
2. 論文標題 「国益を見据えた妥協の効用：日米和解プロセスの示唆」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『外交』	6. 最初と最後の頁 100-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明	4. 巻 2016年1月号
2. 論文標題 「重層的な日米同盟が国際秩序と平和を守る」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『潮』	6. 最初と最後の頁 54-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 久保文明	4. 巻 2016年1月号
2. 論文標題 「バリ同時多発テロが米大統領選に与える影響」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『中央公論』	6. 最初と最後の頁 14-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明	4. 巻 2016年2月号
2. 論文標題 「米大統領予備選、アイオワは重要だが、すべてではない」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『中央公論』	6. 最初と最後の頁 22-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明	4. 巻 2016年3月号
2. 論文標題 「トランプ旋風の風土」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『公研』	6. 最初と最後の頁 16-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明	4. 巻 2016年3月
2. 論文標題 「日米安全保障条約の権利と義務における非対称性の考察」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 世界平和研究所『アジア太平洋地域における海洋安全保障と日米同盟』	6. 最初と最後の頁 2-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明	4. 巻 2016年3月
2. 論文標題 「総論：米国外交政策の変容と日米関係の展望」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『米国の対外政策に影響を与える国内的諸要因』	6. 最初と最後の頁 179-182
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 2016年3月
2. 論文標題 「米国の国内問題におけるイデオロギーの展開：政治・社会における分極化、多文化主義」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『米国の対外政策に影響を与える国内的諸要因』	6. 最初と最後の頁 11-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺将人	4. 巻 225
2. 論文標題 「アメリカ民主党の模索：政党の変容とジレンマを中心に」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『生活経済政策』	6. 最初と最後の頁 25-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 38
2. 論文標題 「アメリカの対中世論：その傾向と対中政策への影響」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『中国21』	6. 最初と最後の頁 65-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 85
2. 論文標題 「オバマ政権後期の環境・エネルギー政策」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『国際情勢紀要』	6. 最初と最後の頁 57-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明	4. 巻 1月号
2. 論文標題 オバマ大統領に立ちはだかる3つの試練	5. 発行年 2014年
3. 雑誌名 中央公論	6. 最初と最後の頁 96-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明	4. 巻 該当なし
2. 論文標題 ミシシッピ州上院共和党予備選挙の動向	5. 発行年 2014年
3. 雑誌名 東京財団ホームページ：プロジェクト（現代アメリカ）論考	6. 最初と最後の頁 該当なし
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 該当なし
2. 論文標題 「アメリカ大統領選挙・中間選挙とインターネット」	5. 発行年 2014年
3. 雑誌名 東京財団ホームページ：プロジェクト（現代アメリカ）論考	6. 最初と最後の頁 該当なし
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 該当なし
2. 論文標題 「インターネットが推し進めるアメリカの政治的分極化」	5. 発行年 2014年
3. 雑誌名 東京財団ホームページ：プロジェクト（現代アメリカ）論考	6. 最初と最後の頁 該当なし
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 該当なし
2. 論文標題 「民主党の「盛り返し」は「メディアの方程式」か、本当の現実か」	5. 発行年 2014年
3. 雑誌名 東京財団ホームページ：プロジェクト（現代アメリカ）論考	6. 最初と最後の頁 該当なし
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 該当なし
2. 論文標題 「逆風の民主党に「人種差別事件」は“神風”を起こすか」	5. 発行年 2014年
3. 雑誌名 東京財団ホームページ：プロジェクト（現代アメリカ）論考	6. 最初と最後の頁 該当なし
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 該当なし
2. 論文標題 「民主党が上院で勝利する2つのシナリオ」	5. 発行年 2014年
3. 雑誌名 東京財団ホームページ：プロジェクト（現代アメリカ）論考	6. 最初と最後の頁 該当なし
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 該当なし
2. 論文標題 「変貌するアメリカの政治報道 保守・リベラル両極への「分極化」進む」	5. 発行年 2014年
3. 雑誌名 The Page (ヤフーニュース)	6. 最初と最後の頁 該当なし
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 該当なし
2. 論文標題 「アメリカ二大政党制の岐路」(1) ティーパーティがもたらした妥協なき政治」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 The Page (ヤフーニュース)	6. 最初と最後の頁 該当なし
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 該当なし
2. 論文標題 「アメリカ二大政党制の岐路」(2) 「民主・共和両党の「リベラル」「保守」分極化」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 The Page (ヤフーニュース)	6. 最初と最後の頁 該当なし
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 該当なし
2. 論文標題 「アメリカ二大政党制の岐路」(3) 「動かない連邦議会」に第三政党への期待」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 The Page (ヤフーニュース)	6. 最初と最後の頁 該当なし
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 該当なし
2. 論文標題 「アメリカ二大政党制の岐路」(4)「移民が米政治の膠着状態を変える？」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 The Page (ヤフーニュース)	6. 最初と最後の頁 該当なし
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菅原和行	4. 巻 27
2. 論文標題 「アメリカ連邦官僚制における中立的能力と応答的能力の動態 職業公務員と政治任用者に対する政治的要請の変化を中心に」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『釧路公立大学紀要 社会科学研究』	6. 最初と最後の頁 39-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺将人	4. 巻 37
2. 論文標題 「2014年中間選挙における民主党敗北の文脈」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『立教アメリカン・スタディーズ』	6. 最初と最後の頁 19-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 梅川健	4. 巻 2014-1
2. 論文標題 「現代アメリカにおける司法の保守化とフェデラリスト協会による保守的法曹の組織化」	5. 発行年 2014年
3. 雑誌名 『アメリカ法』	6. 最初と最後の頁 115-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明	4. 巻 630
2. 論文標題 「オバマ外交のヴィジョン---あるいはオバマ外交にヴィジョンはあるか？」	5. 発行年 2014年
3. 雑誌名 国際問題	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保文明	4. 巻 26
2. 論文標題 「本命クリントン危険に満ちた長すぎる選挙戦---2016米国大統領選の見方」	5. 発行年 2014年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 92-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計60件 (うち招待講演 16件 / うち国際学会 12件)

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「米朝首脳会談をめぐる東アジアの安全保障：トランプ政権の視点」
3. 学会等名 日本防衛学会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 “The Trump Revolution: Views from Japan”
3. 学会等名 21ST Annual Japan-EU Conference, Egmont Royal Institute for International Relations, Brussels (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「アメリカ公共ラジオ「NPR」の研究：質の高い政治情報への希求とその課題」
3. 学会等名 放送文化基金研究報告会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山岸敬和
2. 発表標題 「アメリカ医療保険制度の政治史：歴史的制度論の視点から」
3. 学会等名 比較現代政治研究会、政治史研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「トランプはポピュリストか 世論とアメリカ」
3. 学会等名 グローバルガバナンス学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「トランプ現象について」
3. 学会等名 日本選挙学会
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「アメリカ大統領選挙とメディア」
3. 学会等名 日本マス・コミュニケーション学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「トランプ政権とメディア：「フェイクニュース」議論は必然か」
3. 学会等名 日本国際問題研究所
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kazuhiro Maeshima, et. al
2. 発表標題 "Internet Election Campaigns in the United States, Japan, Korea, and Taiwan"
3. 学会等名 ,American Political Science Association (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fumiaki Kubo
2. 発表標題 "History of US-Japan Relations"
3. 学会等名 Stanford Japan Program, Stanford University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fumiaki Kubo
2. 発表標題 "US-Japan Relations: Past, Present, and Future"
3. 学会等名 Center for Japanese Studies, University of Michigan (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fumiaki Kubo
2. 発表標題 "US-Japan Relations in an Era of New Challenges"
3. 学会等名 The Chicago Council on Global Affairs (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 久保文明
2. 発表標題 「大統領選挙後のアメリカ政治」
3. 学会等名 第145回GRIPSフォーラム (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takakazu Yamagishi
2. 発表標題 "Political Science in English: A Case Study Viewed from CLIL Approach"
3. 学会等名 The Fourth Annual Conference on Global Higher Education (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takakazu Yamagishi
2. 発表標題 "Health Care and Cost Containment in Aging Society: An Experience of Japan in the 1970s and 80s"
3. 学会等名 Southern Political Science Association Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takakazu Yamagishi
2. 発表標題 "Health Care Reform and the Japan Medical Association in the 1960s and 70s"
3. 学会等名 International Studies Association Hong Kong (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 梅川健
2. 発表標題 「オバマ政権の法律家が支えた大統領権限と「戦争」：司法の介入を拒む国家機密特権と、司法に挑戦する標的殺害」
3. 学会等名 北海道大学政治研究会 (北海道大学)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 梅川健
2. 発表標題 「アメリカ大統領制とトランプ大統領：「大統領令」を中心に」
3. 学会等名 明治大学「米国の変化とアジア太平洋への近未来的合意」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「安全保障政策における国際関与と国内論議 アメリカの場合」
3. 学会等名 グローバル・ガバナンス学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「アメリカの選挙とメディア：急変する選挙戦術と今後」
3. 学会等名 日本選挙学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「米国の国内問題におけるイデオロギーの展開：政治・社会における分極化、多文化主義」
3. 学会等名 国際問題研究所シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「アメリカの第3勢力：第3政党と2大政党の改革」
3. 学会等名 日本記者クラブ招待講演（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 2016 US Presidential Election; Japanese Perspectives
3. 学会等名 US Japan Research Initiative (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「アメリカの移民政策：政策の行き詰まりと今後」
3. 学会等名 日本政治学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「トランプ、サンダース現象とアメリカの反エスタブリッシュメント運動：ポピュリストの系譜とこれまでとの相違、今後への影響」
3. 学会等名 日本政治学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「アメリカ社会における社会的分断と連帯      メディアと政治的分極化」
3. 学会等名 社会学コンソーシアムシンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「ユニラテラリズムあるいはマルチラテラリズム トランプ政権が目指す国際秩序」
3. 学会等名 名古屋大学グローバルメディア研究センター主催研究フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 梅川健
2. 発表標題 「大統領が変わるアメリカの三権分立制：署名時声明に見る大統領制のこれまでとこれから」
3. 学会等名 国立国会図書館説明聴取会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 梅川健
2. 発表標題 「トランプ大統領の権力と限界」
3. 学会等名 神奈川大学法学研究所講演会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 久保文明
2. 発表標題 「The United States in the 21st Century」
3. 学会等名 American Studies Association Korea（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 久保文明
2. 発表標題 2016 US Presidential Election and Its Ramifications
3. 学会等名 UK-Japan First Century Conference (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 久保文明
2. 発表標題 A Consideration of the Assymetry of Rights and Responsibilities in the US-Japan Security Treaty
3. 学会等名 Alliance in Today's World (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「アメリカの州・地方レベルの第三政党の現状と課題」
3. 学会等名 日本臨床政治学会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「ヘイトクライムをめぐる政策と立法過程」
3. 学会等名 日本アメリカ学会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「TPPの動向、エネルギー・環境問題」
3. 学会等名 21世紀政策研究所「米国政治と日米関係」勉強会（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「米国の国内問題におけるイデオロギーの展開：政治社会における両極化と多文化主義」
3. 学会等名 外務省委託・発展型総合事業研究プロジェクト「国際秩序動揺期における米中の動勢と米中関係：米国の対外政策に影響を与える国内的諸要因」研究会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「アメリカの視点から」
3. 学会等名 上智大学総合グローバル学部主催シンポジウム「現代中東政治を読む：「アラブの春」から「イスラム国」まで」
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「メディア監視団体について」
3. 学会等名 早稲田大学シンクタンク研究会
4. 発表年 2015年



1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「2014年アメリカ中間選挙：分極化と政治不信」
3. 学会等名 日本政治学会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「本格化するアメリカ大統領選挙」
3. 学会等名 21世紀政策研究所「米国政治と日米関係」勉強会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「アメリカのアファーマティブ・アクション」
3. 学会等名 シンポジウム「外国にルーツを持つ若者の大学進学」
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「トランプは生き残るのか？ 米大統領選予備選の行方」
3. 学会等名 東京財団フォーラム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 Election Campaigning: Japanese-style versus American-style
3. 学会等名 US Japan Research Institute
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 梅川健
2. 発表標題 「米国の対外政策における制度的機能不全：大統領権限、議会と行政のねじれ」
3. 学会等名 日本国際問題研究所米国研究会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 山岸敬和
2. 発表標題 「19世紀のアメリカ政治と病院制度」
3. 学会等名 アメリカ史学会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 山岸敬和
2. 発表標題 「所得格差とオバマケア」
3. 学会等名 日本国際問題研究所米国研究会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 「アメリカの政治的分極化: ガバナンスの危機と外交政策」
3. 学会等名 グローバルスタディーズ研究会
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 “ Internet and Elections in Comparative Perspectives ”
3. 学会等名 台湾政治学会
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 “ Japanese Attitude Toward the United States since 311: New Perceptions for the Oldest Ally ”
3. 学会等名 America Studies Association of Korea
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 久保文明
2. 発表標題 The Challenge of Asymmetrical Alliance; Japan and the U.S.
3. 学会等名 The University of Pennsylvania, Pen Program on Democracy, Citizenship, and Constitutionalism Seminar (招待講演)
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 久保文明
2. 発表標題 Dynamics and Challenges of Asymmetrical Alliance Case of the United States and Japan
3. 学会等名 Edwin O. Reischauer Center for East Asian Studies Seminar Series, SAIS (招待講演)
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 久保文明
2. 発表標題 The United States Policy toward East Asia and Okinawa
3. 学会等名 第48回アメリカ学会年次大会
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 久保文明
2. 発表標題 The Challenge of Asymmetrical Alliance; Japan's Right to Collective Self-Defense and the United States
3. 学会等名 Woodrow Wilson International Center for Scholars
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 渡辺将人
2. 発表標題 2014 Midterm Elections and American Politics : 中間選挙と国内政治
3. 学会等名 国際シンポジウム"Japan-US Partnership and Prospects of Asian Regional Cooperation", Waseda University, Organization for Japan-US Studies
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 渡辺将人
2. 発表標題 2014年中間選挙とオバマ政権
3. 学会等名 立教大学アメリカ研究所 公開シンポジウム「岐路にたつオバマ政権：政治・外交・選挙」
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 梅川健
2. 発表標題 「アメリカにおける三権分立制の変容：カーター政権における議会拒否権と署名時声明をめぐる大統領と議会の攻防を中心に」
3. 学会等名 日本比較政治学会年次大会
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 久保文明
2. 発表標題 アメリカの行方
3. 学会等名 経済広報センター主催講演会「米国の行方---10年後の米国の姿を占う」（招待講演）
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 久保文明
2. 発表標題 オバマ外交の評価と課題---2014年中間選挙から16年大統領宣教に向けて
3. 学会等名 IIST（貿易研修センター）国際情勢シンポジウム「現下の国際情勢と日本を考える」（招待講演）
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 久保文明
2. 発表標題 The Dynamics of Asymmetrical Alliance: The Case of the United States and Japan
3. 学会等名 The Center for American Progress, Japan Study Group
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 久保文明
2. 発表標題 The Pacific World: The Dynamics and Challenges of Asymmetrical Alliance---The United States and Japan
3. 学会等名 Temple University, the Center for the Study of Peace and Diplomacy (招待講演)
4. 発表年 2014年

〔図書〕 計19件

1. 著者名 前嶋和弘	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東洋経済新報社	5. 総ページ数 398
3. 書名 『現代アメリカ政治とメディア』	

1. 著者名 久保文明	4. 発行年 2018年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 314
3. 書名 『アメリカ政治史』	

1. 著者名 久保文明、梅川建、菅原和行	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 174
3. 書名 『アメリカ大統領の権限とその限界』	

1. 著者名 Shoko Kiyohara, Maeshima, Kazuhiro, and Diana Owen ed.	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 212
3. 書名 Internet Election Campaigns in the United States, Japan, South Korea, and Taiwan	

1. 著者名 川上高司、石澤靖治編 前嶋和弘	4. 発行年 2017年
2. 出版社 東洋経済新報社	5. 総ページ数 258 ( 117-138 )
3. 書名 『トランプ後の世界秩序』(内「2016年大統領選挙」を担当)	

1. 著者名 久保文明	4. 発行年 2018年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 328
3. 書名 『アメリカ政治史』	

1. 著者名 久保文明、生井英考、小檜山ルイ、遠藤泰生、長畑明利（編集幹事）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 丸善	5. 総ページ数 958
3. 書名 『アメリカ文化辞典』	

1. 著者名 久保文明、生井英考、小檜山ルイ、遠藤泰生、長畑明利（編集幹事）、前嶋和弘	4. 発行年 2018年
2. 出版社 丸善	5. 総ページ数 958 ( 60 - 61、366 - 367、370 - 371 )
3. 書名 『アメリカ文化辞典』（内「メディアと選挙」「政治報道と分極化」「政治ニュースサイト」を担当）	

1. 著者名 久保文明、生井英考、小檜山ルイ、遠藤泰生、長畑明利（編集幹事）、山岸敬和	4. 発行年 2018年
2. 出版社 丸善	5. 総ページ数 958 ( 480-1 )
3. 書名 『アメリカ文化辞典』（内「医者と病院」を担当）	

1. 著者名 久保文明、生井英考、小檜山ルイ、遠藤泰生、長畑明利（編集幹事）、菅原和行	4. 発行年 2018年
2. 出版社 丸善	5. 総ページ数 958 ( 56-57 )
3. 書名 『アメリカ文化辞典』（内「公務員制度」を担当）	



1. 著者名 久保文明、生井英考、小檜山ルイ、遠藤泰生、長畑明利（編集幹事）、渡辺将人	4. 発行年 2018年
2. 出版社 丸善	5. 総ページ数 958 ( 264-265, 368-369, 372-373 )
3. 書名 久保文明（編集幹事）他『アメリカ文化辞典』（内「例外主義」「トークショーと政治」「ソーシャルメディアの政治力」を担当）	

1. 著者名 前嶋和弘	4. 発行年 2016年
2. 出版社 東京電機大学出版会	5. 総ページ数 336 ( 担当は170-180 )
3. 書名 遠藤薫編『ソーシャルメディアと世論形成』	

1. 著者名 山岸敬和、西川賢編著	4. 発行年 2016年
2. 出版社 大学教育出版	5. 総ページ数 206
3. 書名 『ポスト・オバマのアメリカ』	

1. 著者名 渡辺将人	4. 発行年 2016年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 247
3. 書名 『アメリカ政治の壁 利益と理念の狭間で』	

1. 著者名 久保文明、砂田 一郎、松岡 泰、森脇 俊雅	4. 発行年 2017年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 316
3. 書名 「アメリカ政治第3版」	

1. 著者名 梅川健	4. 発行年 2015年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 248
3. 書名 『大統領が変えるアメリカの三権分立制: 署名時声明をめぐる議会との攻防』	

1. 著者名 渡辺将人	4. 発行年 2015年
2. 出版社 『現代アメリカ選挙の変貌 アウトリーチ・政党・デモクラシー』	5. 総ページ数 340
3. 書名 名古屋大学出版会	

1. 著者名 上智大学アメリカカナダ研究所編、前嶋和弘	4. 発行年 2015年
2. 出版社 上智大学出版	5. 総ページ数 308 ( 263-293 )
3. 書名 『北米研究入門』	

1. 著者名 ジェフリー・サックス著、藤井祐子訳、久保文明	4. 発行年 2014年
2. 出版社 早川書房	5. 総ページ数 360 (226-231)
3. 書名 『世界を動かす1---ケネディが求めた 平和への道』	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	久保 文明  (Kubo Fumiaki)  (00126046)	東京大学・大学院法学政治学研究科(法学部)・教授   (12601)	
研究分担者	山岸 敬和  (Yamagishi Takakazu)  (00454405)	南山大学・国際教養学部・教授   (33917)	
研究分担者	梅川 健  (Umekawa Takeshi)  (40635033)	首都大学東京・法学政治学研究科・教授   (22604)	
研究分担者	渡辺 将人  (Watanabe Masahito)  (80588814)	北海道大学・メディア・コミュニケーション研究院・准教授   (10101)	
研究分担者	菅原 和行  (Sugawara Kazuyuki)  (90433119)	福岡大学・法学部・教授   (37111)	